

# ひだまりの泉 萩の湯

Hidamarino Izumi Haginoyu  
(東京都台東区)



前回萩の湯を訪れたのは2008年6月23日である。実に9年も前のことだ。今回、萩の湯がリニューアルオープンすると聞き、そのお披露目会に参加した。

萩の湯はビル銭湯である。中に入るといきなり富士山のペンキ画がある。ペンキ画は「ここは銭湯なのだ」と主張しているように思えた。

フロントのある階には大きな食事処がある。定員は50人ほどであり、かなりの大きさである。ビールはもちろん、ワインや日本酒もメニューにある。おつまみの種類も豊富だ。男湯はここから1階上、女湯はさらにその上にある。エレベーターは完備されている。

まずは男湯から紹介していく。脱衣室のロッカーは171個。すさまじいキャパシティーである。ヘアドライヤーは4個完備。アメニティーとして乳液、化粧水、ヘアリキッド、ヘアトニック、アフターシェーブローション、麵棒、ティッシュが完備されている。洗面台は2個ある。

いよいよ浴室だ。中に入るとかけ湯がある。

洗い場は37個、シャワーブースは2か所に分かれているが全部で3個ある。洗い場には銭湯としては珍しくシャンプーとボディーソープが完備されている。椅子は高めになっているので楽に座ることができる。シャワーブースは竹で仕上げが施されており、涼しげである。

浴槽は多彩だ。高温風呂（薬湯になっており、定員は6人程度）、大風呂（定員10人程度）、電気風呂（1人分）、寝風呂（2人分）、マッサージ風呂（3人分）、炭酸泉（定員10人程度）がある。炭酸泉の横には見たこともない構図の山が描かれている。作者の個性が感じられる。萩の湯によれば、炭酸泉では炭酸ガスがたくさん溶け込んだ湯を使用することで、血流の促進が期待できるのだという。

半屋外には岩風呂の露天風呂がある。露天風呂の定員は10人程度で、横には数人が腰をかけて談笑しながら、体を冷やすことができる場所も用意されている。この露天風呂に使用されている湯は光マイクロバブル湯である。気泡を1mmの50分の1から30分の1の大きさにして水の中に供給。ほとんど白濁のない湯を実現しているという。これにより、洗浄効果と温浴効果が期待できるのだという。

サウナは定員が25人から30人という巨大なものだ。テレビもある。サウナの前にはこれまた巨大な水風呂がある。その定員は6人程度。こんな巨大な水風呂はあまりお目にかかれないであろう。水風呂

の前には数人が腰をかけられる休憩場所もある。いたれりつくせりである。

浴室は大変明るく、10種類以上のタイルが巧みに組み合わせられて使用されている。中でも注目は木目の入ったタイルだ。一見すると木のように見えるが、触ってみるとタイルであることに気づく。これならば長持ちするし、手入れも容易であろう。

続いて女湯を紹介していく。脱衣室のロッカーは154個。これまたすさまじいキャパシティーである。ヘアドライヤーはなんと8個も完備。果たして同時に8個使用が可能なのだろうか。試してみたかったがやめておいた。アメニティーとしては乳液、化粧水、麵棒、ティッシュが完備されている。意外にも男湯の方がアメニティーは充実している。洗面台は2個ある。

浴室で男湯との主な違いは、高温風呂ではなく軟水風呂があること、そしてサウナはドライサウナと塩サウナの2種類があることであろうか。なるほど、東京の男は見栄っ張りや高温風呂に入る。しかし、女は肌を大切に作るから高温風呂なんか必要なく、軟水風呂や塩サウナが受けるといわけか。よく考えられている。

また、浴室のペンキ画はピンク色の富士山。赤富士のペンキ画は見たことが何度もあるが、さすがにピンク色は見たことがなく幻想的である。別に実在しなくても美しいものは美しい。だから美しい物を描きたい。作者のそういう意図が見えてきた。

さらに、女風呂のドライサウナは面白いレイアウトである。なんと対面形式になっているだ。おしゃべりをしながらサウナを楽しむ。それが実現するレイアウトかもしれない。こんなレイアウトは今まで見たことがない。

リニューアルが完成した萩の湯は、このように様々なチャレンジングな仕組みを取り入れた銭湯だ。銭湯がまだまだ進化しようということを見せつけているとも言える。

ちなみに萩の湯の上階はどうやらマンションのようである。もちろん、これらのマンションには風呂は備わっているものと推察するが、下階にこのような銭湯があれば、多少家賃が高くても十分に満足できるかもしれない。銭湯に行けば、風呂に入って食事も可能。しかも入浴料はたったの460円。毎日銭湯を利用するのは経済的には負担かもしれないが、気分転換や、疲労の回復にはもってこいである。

萩の湯の新しいスタートを祝福したい。萩の湯はこれからの銭湯の新時代を引っ張っていくことであろう。



エントランスにあるペンキ画



フロント



大きな食事処



洗い場



対面式のサウナ（女湯）



露天風呂



男湯にあるペンキ画は珍しい構図



女湯にあるペンキ画はピンクの富士山

DATA

名称	ひだまりの泉 萩の湯
所在地	東京都台東区根岸 2-13-13
電話	03- 3872-7669
営業時間	6 : 00~9 : 00 (最終受付 8 : 30)、11 : 00~25 : 00 (最終受付 24 : 30)
定休日	第 3 火曜日
入浴料	大人 (12 歳以上) 460 円、中人 (6 歳以上 12 歳未満) 180 円、小人 (6 歳未満) 80 円 サウナ追加料金平日 120 円、土日祝日 170 円、タオルセット 70 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	あり
取材日	2017 年 5 月 28 日 (日)
取材	銭湯愛好会東京支部